



容器変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、細胞診(蓄痰法)の蓄痰容器につきまして下記のように変更させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

なお、新容器においても Class 判定、A～E 分類への影響はございません。

謹白



● 容器の変更

● 喀痰採取用容器 (SPUTOR)

対象検査項目：細胞診(蓄痰法)

(依頼コード No. 5972)

変更日 2012年10月より順次変更

【新容器の特徴】

- ① 粘液溶解剤を用いており、細胞塗抹の均一化が期待されます。
- ② アルミ箔による遮蔽で、採取前の試薬漏れが防止できます。

	新容器	従来容器
容器記号	YM	SPUTOR
容器名	喀痰採取用(蓄痰用)	同左
貯蔵方法	10～30℃	1～35℃
有効期間	製造後1年6ヶ月	同左
容器画像		